

とちぎデザイン大賞 2025

応募を検討している方へ

とちぎデザイン大賞や栃木県優良デザイン（Tマーク）事業の内容、
応募用紙の記載方法等を説明いたします。
とちぎデザイン大賞への応募を検討されている方は、ご一読ください。



栃木県優良デザイン（Tマーク） ・ とちぎデザイン大賞とは

【栃木県優良デザイン（Tマーク）、とちぎデザイン大賞の概要】

栃木県優良デザイン（Tマーク）事業は、県内中小企業等が新たに製造した商品・パッケージを募集し、「栃木県優良デザイン（Tマーク）」として認定することを通じて、県内中小企業等の支援、ひいては栃木県の産業の振興を図る取組です。そのうちの特に優れたものをとちぎデザイン大賞として選定しております。

平成元（1989）年度の事業開始から延べ500件以上を栃木県優良デザイン（Tマーク）として選定しております。

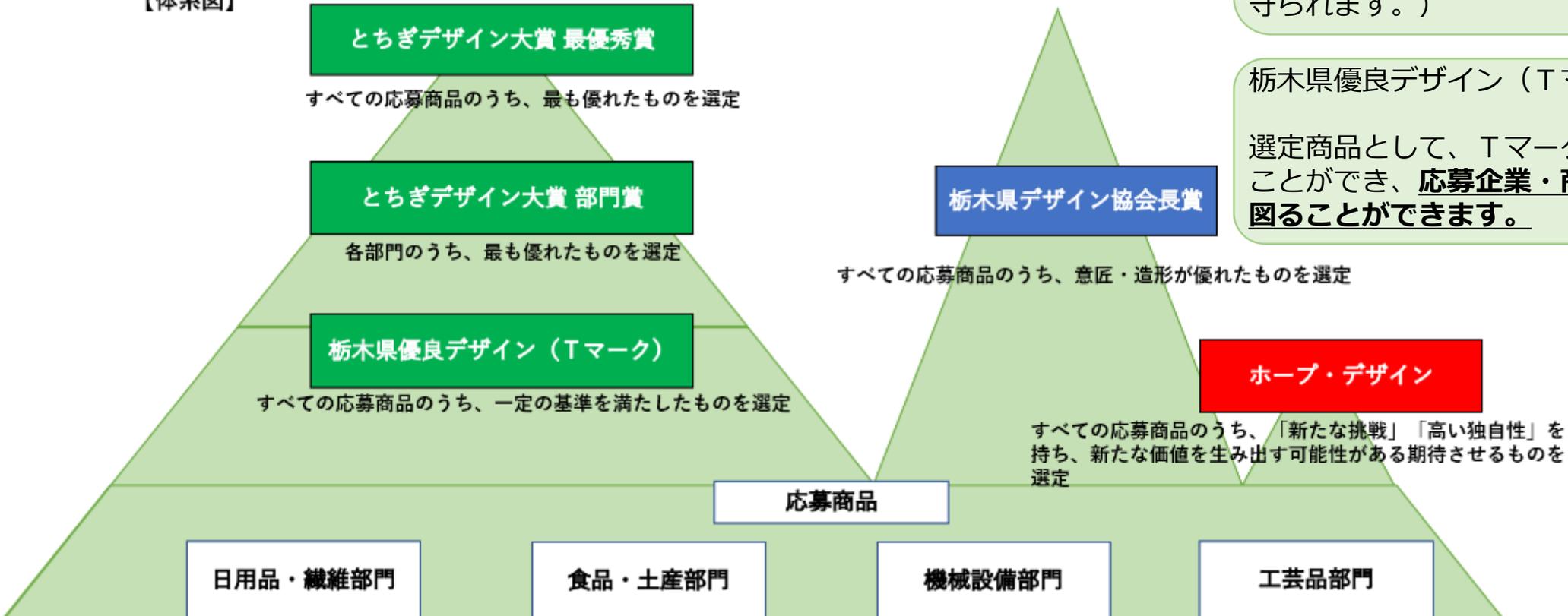
栃木県優良デザイン（Tマーク）に応募すると

応募賞品について、審査員による外部評価を受けることができ、評価コメントを受け取ることができます。（審査会は非公開で、応募賞品の情報は守られます。）

栃木県優良デザイン（Tマーク）に選定されると

選定商品として、Tマークを該当商品に表示することができ、応募企業・商品のイメージアップを図ることができます。

【体系図】



デザインとは（公財日本デザイン振興会より）

【デザインとは？】

「常にヒトを中心に考え、目的を見出し、その目的を達成する計画を行い実現化する。」

この一連のプロセスが「デザイン」であり、その結果、実現化されたものを我々は「ひとつのデザイン解」と考えます。

（引用：公益財団法人日本デザイン振興会HP（公益財団法人日本デザイン振興会））

【デザインの変遷】



主な出来事	戦後の復興	国際化	バブル経済の崩壊	インターネットの普及	SNS・クラウド技術の普及
デザインに求められるもの	高い品質	生活の質の向上	ユニバーサル、エコロジー等	生活者の視点	人々と社会・周辺をつなぐ役割

（参考：GOOD DESIGN AWARD（公益財団法人日本デザイン振興会）

URL:<https://www.g-mark.org/learn/gda/history>)

栃木県優良デザイン（Tマーク） ・ とちぎデザイン大賞の目指すもの

【めざすとちぎの姿 ～とちぎ未来創造プランより～】

本県産業の競争力を高めていくためには、県内企業における未来技術の積極的な導入・活用により、更なる生産性の向上を図るとともに、**従来の発想にとらわれない新たな産業や革新的な製品・サービスの創出を促進するなど、社会ニーズを的確にとらえ、戦略的に取組を進めていくことが求められています。**

【Tマーク・とちぎデザイン大賞の目指すもの】

「Tマーク・とちぎデザイン大賞」では、商品に込めた理想や目的、その実現策、**その商品が人々暮らしや産業に与える「はたらき」**といった商品開発に係る流れを「**デザイン**」と捉えて、表彰をおこないます。

とちぎデザイン大賞をとおして、「良いデザイン」を発信し、**新商品の更なる創出を応援することで、県内中小企業等の支援、ひいては目指すとちぎの姿の実現を図ります。**

【とちぎデザイン大賞における良いデザインの商品】

「人びとの暮らし」や「産業」を、より豊かにする『はたらき』を持つ商品

とちぎデザイン大賞における過去の受賞商品

いろはゆずゼリー

こいしや食品

【商品概要】

地域で栽培されるが、未活用であったゆずを使ったゼリー



【評価された点】

地域の課題を、住民や福祉施設等を巻き込みながら企業のノウハウを活かして解決したこと

<令和5年度とちぎデザイン大賞最優秀賞>

フロントガード

株式会社雀宮産業

【商品概要】

首にかけるタイプのフェイスシールド



【評価された点】

頭に装着するフェイスシールドの課題であった、シールド下部からのウイルス侵入を、独自の形状のフェイスシールドにより、解決していること

<令和3年度とちぎデザイン大賞最優秀賞>

ろまんちっく村の地ビール「エシカルシリーズ」

株式会社ファーマーズ・フォレスト

【商品概要】

地場で生じる廃棄原料を使ったビール
(パンやブドウの皮など)



【評価された点】

消費者がビールを飲むことで、地域の食品ロス問題の解決につながる仕組みをデザインによって実現したこと

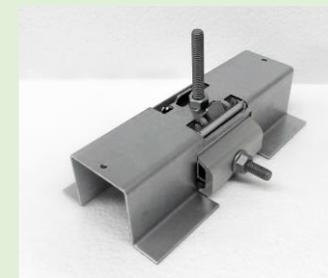
<令和4年度とちぎデザイン大賞最優秀賞>

ハゼ折板用「マルチグリップ積雪仕様」

株式会社カナメ

【商品概要】

積雪仕様の太陽光取付金具



【評価された点】

積雪地帯にある企業ニーズを的確に捉え、雪国での太陽光発電というジレンマを解決したこと

<令和6年度とちぎデザイン大賞最優秀賞>

【審査項目】

審査項目は、以下の5項目となっております。

審査区分「デザイン」では、デザインの考え方をを用いた商品開発の流れに沿って、下記の3つの観点から審査を行います。

- ①ターゲットと課題の設定
- ②自社リソースを活用した解決方法の提案
- ③暮らしや産業に与える「はたらき」

また、④、⑤では、栃木県の産業や、社会全体（SDGs）に与える商品の「はたらき」がどのようなものか審査を行います。

審査区分	審査項目
デザイン	①ターゲットユーザーが抱える問題を独自のテーマにしているか。
	②設定したテーマを自社のリソースによって適切に解決しているか。
	③解決策が暮らしと産業の発展に寄与しているか。
産業	④栃木県の産業が抱える課題の解決に繋がるものであるか。
社会	⑤「SDGs」のいずれかの項目に該当または目指しているか。

①

②

③

④

⑤



とちぎデザイン大賞応募用紙の記載方法について

応募用紙のうち、記載方法が難しい「3 商品の詳細」「4 産業的視点」「5 社会的視点」について、記載する内容の解説と、より審査員に伝わりやすくするためのポイントを紹介いたします。

【「3 商品の詳細」について】（応募用紙2ページ）

「3 商品の詳細」は、「ターゲットユーザー・ユーザーが抱える問題」「自社のリソースを活用した問題解決方法」「商品が果たす役割」「自由記述」に分かれております。

○「ターゲットユーザー・ユーザーが抱える問題」について

【解説】

審査項目①「ターゲットユーザーが抱える問題を独自のテーマにしているか。」に対応する部分になります。ここでは、商品開発にあたり、どのようなユーザーを対象にしているのか。そのユーザーが抱えるどのような問題を解決しようとしているのか。を書いてください。

【ポイント】

- ・ 審査員がユーザー像を想像しやすいようによく詳細に書かれていますか？
- ・ 自社ならではの着眼点で問題をとらえていますか？



○ 「ターゲットユーザーが抱える問題を解決する方法と、活用する自社リソース（強み）」について

【解説】

審査項目②「設定したテーマを、自社のリソースによって適切に解決しているか。」に対応する部分になります。
ここでは、商品開発にあたり、ターゲットユーザーが抱える問題を、自社のリソース（強み）を活かして、どのように解決しようとしているのかを記載してください。

【ポイント】

- ・ 自社のリソースの活用方法は独自性のあるものですか？
- ・ 自社のリソースを活用して行う解決方法は、ターゲットユーザーが抱える問題に対して効果的ですか？

○ 「商品が果たす役割」について

【解説】

審査項目③「解決策が暮らしと産業の発展に寄与しているか。」に対応する部分になります。
ここでは、開発した商品が、ターゲットユーザーの抱える問題・「人びとの暮らし」や「産業」をどのように良くすることができるかを記載してください。

【ポイント】

- ・ 開発した商品は、ターゲットユーザーの抱える問題を的確に解決していますか？
- ・ 「人びとの暮らし」や「産業」を良くする効果がありますか？

【「4 産業的視点」について】（応募用紙3ページ）

【解説】

審査項目④「栃木県の産業が抱える課題の解決に繋がるものであるか。」に対応する部分になります。応募用紙には、①～⑪まで、栃木県の産業が抱える課題を記載しておりますので、該当する番号に丸をつけた上で、**開発した商品が栃木県の産業に与える良い「はたらき」**を記入欄に記載してください。

【ポイント】

- ・ 開発した商品が与える**良い「はたらき」**は、**選んだ項目にとって効果的**ですか？

【「5 社会的視点」について】（応募用紙3ページ）

【解説】

審査項目⑤「「SDGs」のいずれかの項目に該当または目指しているか。」に対応する部分になります。応募用紙には、①～⑰まで、SDGsに掲げる目標を記載しておりますので、該当する番号に丸をつけた上で、**開発した商品がSDGsの目標に与える良い「はたらき」**を記入欄に記載してください。

【ポイント】

- ・ 開発した商品が与える**良い「はたらき」**は、**選んだ項目にとって効果的**ですか？

ホープ・デザイン

県内中小企業のデザイン開発を活性化させることを目的に、令和4（2022）年度に新設されました。

ホープ・デザインは、審査の点数に関わらず、商品開発における「新たな挑戦」や「高い独自性」を評価し、表彰しようとする取組です。

栃木県優良デザイン（Tマーク）の選定基準に届かない商品であっても、選定される可能性がありますので、奮ってご応募ください。

【ホープ・デザインにおける審査項目】

- ①応募商品の開発に伴い、事業者として、新事業・新分野・新市場・新領域等へ新たに挑戦することとなったもので、今後の工夫次第で「人びとの暮らし」や「産業」に対して、新たな価値を生み出す可能性があると期待させるもの
- ②応募商品の「ターゲットユーザー・抱える問題」「リソースを活用した解決方法」「商品の持つはたらき」が高い独自性を持っており、今後の工夫次第で「人びとの暮らし」や「産業」に対して、新たな価値を生み出す可能性があると期待させるもの

【R5年度ホープ・デザイン】

商品名：Sugi 折りたたみテーブル

廃校利用や木工教室等の開催による地域振興の取組が素晴らしく、木製品の良さを活かした製品で、今後県内木材活用や脱炭素社会への貢献が期待できる可能性が評価された（審査項目①に該当）



【R6年度ホープ・デザイン】

商品名：Miyayuzu Room Spray

産学が一体となって開発された商品で、地域の魅力発信や産業振興に繋がる商品。今後、「香りで暮らしをデザイン」し、人々の心やすらぐ暮らしを実現できる可能性が評価された（審査項目②に該当）



「とちぎデザイン塾」のご紹介

栃木県では、県内中小企業のデザイン開発を支援するため、インダストリアルデザイナーを講師として招き、デザインの考え方をを用いた新商品開発の講義及びワークショップを、毎年秋から冬にかけて実施しております。

デザイン開発を学ぶことで、とちぎデザイン大賞の考え方をより深く理解することができるため、とちぎデザイン大賞の応募を考えている企業の方へおすすめです。

令和7（2025）年度の参加者の募集は、9月18日から行っていますので、奮ってご応募ください。

【講義イメージ】計5日間の講義（単独回の参加も可）

- ・各回のテーマ
 - ①「経営」、②「企画」、③「開発」、④「商品」、⑤「ブランディング」
- ・新商品開発のグループワーク演習が中心です。
- ・各回の繋がりには「カチ創り交流シート」で補います。

【参加費用】

- 1社あたり1万円
（初回無料。第2回～第5回分として1社1万円）
（各社の経営者及び関連部門担当者[企画、開発等]2名での参加を推奨しております。）

【とちぎデザイン塾参加のメリット】

- ・新しい観点から会社を見つめ直すことができます。
- ・中小企業ならではの商品開発を学べます。
- ・受講者が学んだ内容を経営者・現場へ共有できます。

（説明）

- ・とちぎデザイン塾では、デザイン開発の考え方を0から学びます。
- ・実践的な内容を学ぶことができるので、現場に戻ってすぐに新商品開発に活かすことができます。
- ・全5回を通して参加の場合、ターゲットユーザーの設定から商品開発プレゼンテーションまで、一連の商品開発の手法を、演習により学ぶことができます。

